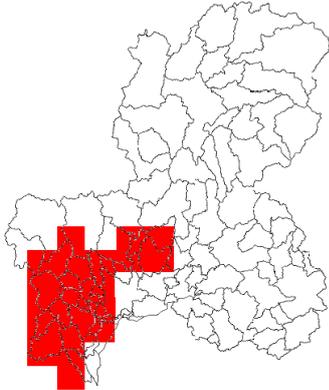


タキミチャルメルソウ	<i>Mitella stylosa</i> H.Boissieu var. <i>stylosa</i>	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧)		ユキノシタ科
選定理由	大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつあり、個体数が大幅に減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	高さ40cm前後の多年草。複数の花茎の基部に長柄がある葉を束生する。卵形の葉身には欠刻と鋸歯がある。両性花は5数性で3角形の萼片と共に淡褐色。2-4mmの花びらは針状または一部が3裂して目立たないことが本種の特徴。	
生態的特徴	丘陵地の溪流沿いや滝のしぶきがかかるような谷間の湿地に生育する。花期は4-5月。	
分布状況	日本固有種。岐阜県、三重県、滋賀県に産地があり、岐阜県においては南西部に見られ、関市洞戸地域にも記録されている。	
減少要因	生育地が限られ、生育面積が狭く特殊な環境に生育するため、環境の変化に影響を受けやすい。さらに採取圧も懸念される。	
保全対策	生育地の保全、採取の制限。	
特記事項	生育地の適正管理、工事に当たっては設計段階以前に生育地の保全管理方法の検討、採取の制限が必要。	
参考文献	佐竹義輔他編集(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類:p.163. 平凡社 岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課編集(2001)岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物—岐阜県レッドデータブック—:p.54. 岐阜県 矢原徹一監修(2003)ヤマケイ情報箱レッドデータプランツ:P.292. 山と溪谷社	

文責:後藤常明